



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 東和薬品株式会社

上場取引所 東

コード番号 4553 URL <http://www.towayakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長

(氏名) 西川義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,060	5.5	4,658	4.8	4,762	12.9	2,915	10.3
23年3月期第2四半期	21,868	14.7	4,445	18.6	4,219	32.7	2,642	38.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,895百万円 (12.7%) 23年3月期第2四半期 2,570百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	169.83	—
23年3月期第2四半期	153.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	76,072	48,958	64.4
23年3月期	72,964	46,664	64.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 48,958百万円 23年3月期 46,664百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
24年3月期	—	40.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	4.0	8,400	△13.0	8,300	△11.7	5,100	△12.8	297.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	17,172,000 株	23年3月期	17,172,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	4,943 株	23年3月期	4,899 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	17,167,076 株	23年3月期2Q	17,167,128 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災を受けて急速に落ち込んだものの、しだいに持ち直しの動きとなっています。一方で、欧州危機を発端とする海外経済の減速や超円高水準の定着、電力供給問題、復興増税による経済への影響などの多くの懸念材料があり、今後の見通しはなお不透明であります。

医療用医薬品業界では、平成23年度は診療報酬改定もなく、平成22年4月に実施された後発医薬品調剤体制加算の見直しの影響も一巡したため、ジェネリック医薬品市場の拡大にも一服感があります。

当社といたしましては、今後、本格的なジェネリック医薬品の普及拡大期を迎えるにあたり、安定供給体制の拡充を図るため、昨年度より営業所の新設などの営業体制の拡充に注力してまいりました。また、当社独自のRACTAB技術を用いたアムロジピンOD錠「トーワ」やランソプラゾールOD錠「トーワ」の拡売を図っております。

しかしながら、営業所の新設などの営業体制の拡充による増収効果がいまだ顕在化しておらず、当第2四半期連結会計期間の業績推移も第1四半期連結会計期間と同様となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、23,060百万円（前年同期比5.5%増）にとどまり、営業利益は4,658百万円（同4.8%増）、経常利益は4,762百万円（同12.9%増）、四半期純利益は、2,915百万円（同10.3%増）の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、76,072百万円となり、前連結会計年度末比3,108百万円の増加となりました。そのおもな増加要因は、有価証券の増加2,673百万円、建物及び構築物の増加2,075百万円などであり、おもな減少要因は、現金及び預金の減少2,333百万円、受取手形及び売掛金の減少1,319百万円などであります。

負債につきましては、27,114百万円となり、前連結会計年度末比813百万円の増加となりました。そのおもな増加要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の増加2,900百万円などであり、おもな減少要因は、その他流動負債の減少2,024百万円などであります。

純資産につきましては、48,958百万円となり、前連結会計年度末比2,294百万円の増加となりました。そのおもな要因は、利益剰余金の増加2,314百万円であります。

その結果、自己資本比率は64.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較し1,159百万円減少し、6,871百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益4,667百万円等の収入がありましたが、たな卸資産の増加額2,503百万円等の支出があったため、差引2,066百万円の収入（前年同期比14百万円の収入減）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3,761百万円等があり5,490百万円の支出（前年同期比1,356百万円の支出増）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入3,000百万円がありましたが、配当金の支払額600百万円等があったため、差引2,295百万円の収入（前年同期比2,243百万円の収入減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想（第2四半期、および通期）につきましては、平成23年8月8日に修正公表したところですが、当第2四半期の業績は、概ねこの修正予想どおり進捗いたしました。

今後につきましても、同様の業績推移を見込んでおり、平成23年8月8日に公表しました平成24年3月期の連結業績予想（通期）は修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,531	7,198
受取手形及び売掛金	16,024	14,704
有価証券	2,000	4,673
商品及び製品	7,232	8,569
仕掛品	2,826	2,870
原材料及び貯蔵品	3,421	4,544
その他	1,668	1,698
貸倒引当金	△247	△114
流動資産合計	42,456	44,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,178	9,254
機械装置及び運搬具(純額)	1,918	2,172
土地	6,771	6,771
建設仮勘定	10,390	9,369
その他(純額)	573	610
有形固定資産合計	26,833	28,179
無形固定資産	606	714
投資その他の資産		
投資有価証券	1,791	1,726
その他	1,388	1,418
貸倒引当金	△112	△109
投資その他の資産合計	3,067	3,034
固定資産合計	30,508	31,927
資産合計	72,964	76,072

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,504	6,708
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	500	1,495
未払法人税等	2,135	1,828
引当金	72	36
その他	7,386	5,362
流動負債合計	16,899	15,730
固定負債		
長期借入金	8,500	10,405
引当金	176	163
その他	724	815
固定負債合計	9,400	11,383
負債合計	26,300	27,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,870
利益剰余金	34,117	36,431
自己株式	△11	△11
株主資本合計	46,694	49,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	△50
その他の包括利益累計額合計	△30	△50
純資産合計	46,664	48,958
負債純資産合計	72,964	76,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,868	23,060
売上原価	10,312	10,412
売上総利益	11,556	12,648
販売費及び一般管理費	7,110	7,990
営業利益	4,445	4,658
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	2	2
有価証券売却益	1	—
技術指導料	38	35
貸倒引当金戻入額	—	142
有価証券評価益	—	67
その他	47	29
営業外収益合計	101	285
営業外費用		
支払利息	28	43
有価証券売却損	—	17
有価証券評価損	5	—
為替差損	—	13
スワップ評価損	279	104
その他	14	2
営業外費用合計	327	181
経常利益	4,219	4,762
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12	—
投資有価証券受贈益	14	—
特別利益合計	26	—
特別損失		
固定資産処分損	0	10
投資有価証券評価損	19	83
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17	—
特別損失合計	37	94
税金等調整前四半期純利益	4,208	4,667
法人税等	1,566	1,752
少数株主損益調整前四半期純利益	2,642	2,915
四半期純利益	2,642	2,915



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,642	2,915
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△72	△19
その他の包括利益合計	△72	△19
四半期包括利益	2,570	2,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,570	2,895
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,208	4,667
減価償却費	866	958
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△136
その他の引当金の増減額(△は減少)	△60	5
固定資産処分損益(△は益)	0	10
受取利息及び受取配当金	△14	△11
支払利息	28	43
スワップ評価損益(△は益)	279	104
有価証券評価損益(△は益)	25	16
有価証券売却損益(△は益)	△1	17
売上債権の増減額(△は増加)	△147	1,318
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,441	△2,503
仕入債務の増減額(△は減少)	245	203
その他	△118	△552
小計	3,869	4,142
利息及び配当金の受取額	14	11
利息の支払額	△28	△46
法人税等の支払額	△1,774	△2,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,081	2,066
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	6,000	3,500
有形固定資産の取得による支出	△5,008	△3,761
投資有価証券の取得による支出	—	△155
投資有価証券の売却による収入	16	156
貸付金の回収による収入	4	13
その他	△145	△243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,133	△5,490
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	5,000	3,000
長期借入金の返済による支出	—	△100
配当金の支払額	△556	△600
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	96	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,539	2,295
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,480	△1,159
現金及び現金同等物の期首残高	5,941	8,031
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,422	6,871

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等  
当社グループ（当社及び連結子会社）は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。